

ベナン共和国 バンテ郡 アトコリベ行政区
アジゴ公立幼稚園
2 教室、オフィス、倉庫を擁する 1 棟の建物
およびトイレの建設について
作業報告書その 1
(2026 年 2 月 5 日～2026 年 4 月 30 日)

当会の会長、女性問題部門の責任者、そして私の 3 人は、早くも 2 月 4 日にはアジゴへと出発しました。アジゴはバンテよりもサヴァルーに近いので、私たちはサヴァルーで 1 泊し、翌朝は午前 10 時に始まる現地の住民との総会に間に合うようにアジゴに到着しました。私たちの建築チームもすでに到着していました。村の人々も集まっていました。自治体からは技術部門の責任者がアジゴに派遣されていました。また、ボベの地域責任者がアトコリベの地域責任者の代理を務めました。私たちは自己紹介をし、ここに来た理由を説明しました。人々は、幼稚園の新しい校舎を求める自分たちの願いが聞き入れられたことを非常に喜んでいました。その後、私たちは契約書を読み上げて翻訳しました。村の人々は、理解できなかったすべての事柄について質問をしました。すべての質問に回答し終えた後、契約書の規定に従ってプロジェクトを実施するかどうかの投票が行われました。住民はプロジェクトの実施に賛成票を投じました。



私たちは投票の後、新しい校舎のために住民が予定していた敷地を視察しました。それぞれの責任者（幼稚園と敷地を共有している小学校の校長、幼稚園の園長、道路計画を持ち出した村長）の意見が一致しなかったため、多くの議論が交わされました。全員が意見を述べた後、自治体の技術部門責任者と私が共同で、ほぼすべての意見に合致する形で新しい校舎をどこに建設すべきかを決定しました。

村の人々は、仮設枠用の小さなチークの丸太を調達してくれました。隣接する小さな町グカで、私たちは型枠用の板を見つけました。釘は私たちが持参していました。私たちは急いで仮設枠を設置しました。



技術部門の責任者は、私たちの若い建築チームと話したいと申し出ました。このチームは、私たちのチーフ作業員のかつての見習いたちで構成されています。彼らはみな、私たちの建築現場で何年も学び、今では彼ら自身が親方です。技術部門の責任者は父親のような役割を引き受け、若い男たちに対して、仕事に集中し、若い女性や少女たちからのアプローチに乗らないよう求めました。有能で若い男性の集団は、この村では注目を集める存在です。彼女たちのなかから夫を探そうとする娘も少なくないだろう、というわけです。



夕方近くになって、最初の建築資材が届きました。



砂



鉄筋

セメント



砂利



翌日、鉄筋工たちが鉄筋の加工を始めました。レンガ職人たちは建築用のブロックを作りました。雨が降りそうになるたびに、出来立てのブロックにカバーをかけました。



村の人々は、建物のための基礎の溝を掘り始めました。



基礎の溝をすべて掘り終わった後、柱を埋め込む予定の箇所が拡張されました。敷地の傾斜は段差をつけることで調整されました。その後、鉄筋で補強された二重の基礎べが打設され、柱が組み込まれました。



基礎の上に基礎壁が築かれました。壁が地表に達したところで、下部の鉄筋アンカーが配置されました。



全てしっかりと噛み合っているか確認し、下部の鉄筋アンカーを打設します



小学校の児童たちも手伝って、ブロックを建物まで運びました。



壁が窓の高さに達すると、窓の開口部の下にあたる小さな鉄筋アンカーが打設されました。その上に、壁が窓の上の高さまで築かれました。



ベランダの柱が打設されました。上部の鉄筋アンカーが準備され、その後、一気に打設されました。



上部の鉄筋アンカーの上に、さらに壁がブロック4段分高く積まれ、その上に屋根の下にあたる鉄筋アンカーが打設されました。この4つ目の鉄筋アンカーの上に、切妻壁が築かれました。



最後に、柱の先端部分が打設されました。



作業員たちのための上棟式



お祝いの後、スロープが作られました。



休み時間用の、コンクリート製の小さなベンチとテーブルも作られました。



屋根を設置できるようになるまで、すべてを1ヶ月間乾燥させなければなりません。

村の人々は、なぜトイレの穴を掘らなければならないのかを理解するのに苦労していました。彼らが4メートルの深さの穴を掘ることに同意してくれるまでには、多大な説得の努力が必要でした。



穴の中の壁がシカリットとシカラテックスで防水処理された後、穴は閉じられました。



その上にトイレの個室が建設されました。



ついに、大工たちが現場にやってきました。
裁断された厚板が納品されました。



これらを防虫剤で処理したあとで、屋根の骨組みが組み立てられました。



桁が取り付けられ、最後に屋根が葺かれました。



トイレ小屋にも屋根が設置されました。



すべての協力者および支援者の皆様、とりわけ総工費の 25%を寄付してくださった寄付者の方々に感謝いたします。ドイツ連邦経済協力開発省(BMZ)の職員の皆様、そして私たちのために BMZ への申請書を作成してくださっている Dr. Kämmerling 氏に感謝いたします。

間もなく、レンガ職人たちが左官作業を始めるために現場に戻ってくる予定です。

心を込めて
當田アストリット